資料 3-2

令和７年４月吉日

都道府県理学療法士会 各位

４月 18 日「医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会」 LIVE 配信視聴 URL のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

現在、物価・賃金上昇に診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス報酬等の改定が追いついておらず、医療・介護・福祉の提供体制の維持や薬の安定供給が危ぶまれております。

自民党国会議員の先生方や衆議院支部長らからの力強いご支援を賜りつつ、我々現場も一丸となって要望の実現に向けて機運醸成を進めるため、「医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会」が以下のとおり開催されます。つきましては、ご多忙とは存じますが、是非とも LIVE 配信をご視聴いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

日 時： 令和７年４月 18 日（金）１２：１５～（所要約１時間）
場 所： 自民党本部 ８階「ホール」東京都千代田区永田町１－１１－２３
対 象： 衆・参 自民党国会議員/医療・介護・福祉に関わる関係団体
LIVE 配信 URL: https://youtube.com/live/oFgFs_9sx50?feature=share
右の QR コードからも視聴できます。

今後、自民党国会議員の先生方や衆議院支部長らと一丸となり、政府に対し以下をより強く要望して参りたいと思います。

- ●診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス報酬等について、物価・賃金の上昇に応じて適切にスライドする仕組みを導入すること。特に今年から来年にかけては、著しく逼迫した経営状況に鑑み、期中改定も視野に入れること。
- ●社会保障予算の目安対応について、歳入の十分な見える化を図りつつ財政フレームの見直しを行い、「高齢化の伸びの範囲内に抑制する」との取扱いを改め、物価・賃金の上昇を踏まえた仕組みへと見直すこと。
- ●上記を確実に行いつつ、薬価中間年における機械的な薬価引き下げの廃止を含め、薬価改定のあり方を見直すこと。
- ●小児医療・周産期体制については、著しい人口減少により対象者が激減していることから、政策医療として体制整備を維持する為の別の仕組みの検討を開始すること。

問合せ先：医療･介護･福祉の現場を守る緊急集会事務局
TEL:03-6550-0504　自見はなこ事務所 担当／江頭・堀江･木場